



vol.217

2011 April

発行/学校法人 大阪音楽大学

編集/広報誌編集部

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL/06-6334-2131 FAX/06-6334-2141

URL <http://daion.ac.jp>

発行日/2011年4月1日



卒業証書を手に正門前で記念撮影をするみなさん(3月25日)

2015年 楽 創立100周年

CONTENTS

前橋汀子教授が特別講義「ベートーヴェンの弦楽四重奏」……………8

第22回学生オペラ「ドン・ジョヴァンニ」 大学・短大吹奏楽演奏会 ほか ……10・11

■ 2010年度大学・短大卒業式……………2	■ 2年でCD7枚リリース 河合良知子さん……………13
■ ジンバブエで音楽教師 村田千明さん……………3	■ 入試ナビ/ミレニアムホール特別講座……………14
■ 式典ファンファーレを学生に公募……………4	■ 11年度入試関連スケジュール/入試結果……………15
■ 英国人初 大学院修了 ヴェリティ・レインさん……………5	■ 田中勉教授が文化庁芸術祭賞優秀賞……………16
■ Tuttiオペラ/音楽博物館……………6	■ 井上麻子講師・藤井快哉助教デュオがライオンズ音楽賞……………17
■ オペラハウスの催し/公開講座案内……………7	■ インドネシアで教育活動 山内美奈さん……………18
■ 連載「校史点描」<18>三浦環の関西初演……………9	■ 大阪夕陽丘学園高と指定校協定……………19
■ 中澤道子講師作曲の創作オペラ再演……………12	■ 短大ミュージカル、ジャズ公演……………20



それに音楽社会活動賞に3人(大学1人、短大2人)を選び、3

最優秀賞

林 佑子さん
増井 愛さん
富田 一樹さん
丹澤加奈子さん

大阪音楽大学と同短期大学部は10年度の大学最優秀賞4人と優秀賞10人、短大優秀賞9人、

10年度最優秀賞・優秀賞など決まる

月25日の卒業式で表彰しました。

大学最優秀賞は林佑子さん(声

楽)、増井愛さん(ピアノ)、富

田一樹さん(オルガン)、丹澤

加奈子さん(コントラバス)で

す。4人は10月26日にザ・カレ

ッジ・オペラハウスで開催のザ・

ローレル・コンサートへの出場

権を得ました。大学、短大の優

秀賞と音楽社会活動賞は次のみ

なさん。

【優秀賞】大学Ⅱ岡本惟禎(作曲)、石井京、田主容子、中原

立悠紀(声楽)、間宮妃菜(フルート)。

【音楽社会活動賞】大学Ⅱ杉山

恵梨(ヴァイオリン)短大Ⅱ足

立悠紀(声楽)、間宮妃菜(フルート)。

今井麻友美(電子オルガン)

藤岡さくら(以上ポピュラー)、

出してください。先生はいつもみなさんのことを応援しています」と語り掛けました。

園長は3月11日に起きた東日本

大震災にも触れ「子どもたちのこれからの日々に大きな試練が訪れ

ませんように、幸せな日々が待っていますように」とエールを送りました。



自分を感じ

張っていた

いながら頑

ニコニコ笑

があれば、

心配なこと

「これから

挨拶に立ち

小畑園長が

この後、

手渡ししまし

た。

でとう」と声をかけ、卒業証書を

小畑有子園長が一人ひとりに「おめ

が3月19日、園内ホールで行われ

ました。今年の卒園児は80人。小

付属音楽幼稚園の第44回卒園式

幼稚園は80人卒園

将来が開かれると確信します。

わが国が、力強く復興し、明るい

今、未曾有の国難に遭遇している

に社会に大きく羽ばたいてこそ、

楽力、人間力という太い芯をばね

中村孝義学長から卒業証書を受け取る大学卒業生



10年度卒業式

大阪音楽大学、大学院、短期大学の10年度卒業式が3月25日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。今年のファンファーレは学生公募で選ばれた杉本友樹さんの作品です。式に臨んだのは大学音楽部243人、音楽専攻科35人、大学院音楽研究科12人、短期大学部音楽科158人、同専攻科23人。中村孝義学長が各代表に卒業、修了証書、学位記を授与、大学最優秀賞、大学、短大の優秀賞などに選ばれた25人を学長表彰しました。式に先立って、東日本大

震災から復興へ導く音楽力

中村孝義学長 式辞

震災で犠牲になった人たちの冥福を祈り、二時間の黙祷を捧げました。卒業のお祝いを申し上げる前に、この度の東日本大震災で被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、ご逝去された方々に心から哀悼の意を表します。あの大地震の惨状に心を痛めた人のなかには、こうした現実を前に音楽に何の意味があるか、絶望すら感じるかもしれない。しかし音楽には亡き人の魂を鎮め、悲しみを慰め、生きる勇気を与える強い力があります。ここに集まった前途有望な若いみなさんが、本学で培った音



子どもたちの笑顔見たくて

ジンバブエで音楽教師

3月卒業の村田さん

音楽を通して、途上国の子どもたちの役に立ちたい—そんな夢を叶えるため青年海外協力隊(JICA)に志願した人がいます。3月25日に大学を卒業した村田千明さん(ピアノ)で配属先はアフリカのジンバブエ共和国。語学研修などを重ね今年10月、音楽教師として現地に向かいます。



る音を聞いて、目を輝かせる子どもたち。その時の笑顔が今も目に焼き

付いて忘れられません」

青年海外協力隊に応募したのもそのことがあったから。一次の筆記、二次の実技と面接試験をクリアし、念願の海外行きを手にしま

村田さんが海外の子どもたちに関心を持つようになったのは大学3年のころから。日本国際協力センターのアセアン派遣事業に参加し、インドネシアやカンボジアの小学校を訪問。鍵盤ハーモニカを演奏するなどして子どもたちと交流してきました。「楽器から流れ

夢かなえ10月出発

した。

派遣先はアフリカ南部にあるジンバブエ。アフリカで最後に独立した国、世界で一番寿命の短い国といわれています。村田さんは首都ハラレにあるジンバブエ音楽学校に音楽教師として赴任します。

この音楽学校は西洋古典音楽、

ジャズ、アフリカン音楽、ダンスなどの楽器演奏指導、先生養成プログラムなどを行っているそうです。派遣期間は2年の予定。学校では上級者のピアノ演奏者に対する技術指導やコンサートなどでの演奏指導ができる教師が不足しており、村田さんの赴任を心から歓迎しているそうです。

「アフリカは初めてですが、行ってみると、どの国も住めば都。心配はしていません。笑顔で周りの人をハッピーにさせるような先生を目指したいです」と村田さん。

卒業式が終わると実家のある熊本県に帰り、ピアノ連弾、未経験のジャズ、ポピュラーについての特訓が待っています。また7月から2カ月間は福島県にある「JICA」の訓練センターでの合宿に参加。英語を鍛え、10月に現地に向かうそうです。

謹んでお見舞い申し上げます

大阪音楽大学は教職員一同、東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心から祈念いたします。

学校法人・大阪音楽大学

情報をお寄せください

大阪音楽大学は修学、教育支援についてできる限りのことを致しますので、ご相談ください。また、本学関係者で被災された方の情報をお持ちでしたら、お寄せください。まずは電話でご連絡ください。

大阪音楽大学教員人事(4月1日付)
教授 田中由也(声楽)、松田昌恵(声楽) 〓 いずれも准教授 助教 井上かおり(教養教育) 〓 講師 大阪音楽大学短期大学部教員人事(4月1日付)
教授 羽鳥三実広(ミュージカル) 〓 新採用、松本昌敏(ピアノ)、藤本敦夫(教職)、山下豊(教養教育) 〓 いずれも准教授 准教授 木村綾子(ピアノ) 〓 講師 助教 高橋典子(教養教育) 〓 新採用、北野祐司(ピアノ) 〓 講師
客員教授(*以外4月1日付)
*福田進一(クラシックギター 10年12月2日付)、澤和樹(ヴァイオリン)、宗清洋(ジャズ・トロンボーン)

Great Teachers of Wind Band vol.3

入学式、卒業式のオープニングを飾る式典ファンファアレを、昨春秋、学生に公募しました。応募作品の中から審査の結果、杉本友樹さん（大3 作曲）と、中谷康亮さん（短1 作曲）の作品が選ばれ、11月9日に学長から表彰状と図書券が贈られました。3月25

昨年第58回全日本吹奏楽コンクール全国大会で、みごと金賞に輝いた千葉県松戸市立第四中学校。吹奏楽の専門誌「バンドジャーナル」でも、「技術が完全に音楽表現に昇華された、今年度一番の圧倒的な名演」と絶賛されました。

同中学校吹奏楽部を、赴任早々わずか一年目に全国大会で金賞に導いたのは顧問の須藤卓真教諭。本学ではクラリネットを本田耕一教授に師事、卒業後は千葉県の中学校教諭として、吹奏楽の指導に取り組んできました。これまで顧問を務めた松戸市立和名ヶ谷中学校では全国大会で銀賞、柏市立酒井根中学校では3年連続金賞、さらに日本管楽合奏コンテストで2年連続最優秀グランプリを受賞するなど、次々と赴任先の中学校で、

初の学生公募ファンファアレ

日の卒業式には杉本さんの作品が演奏され、オペラハウスの初めて学生が作曲したファンファアレが響きました。入学式には中谷さんの作品が演奏されます。

「作品の条件はバルコニーを使



中谷康亮さん



杉本友樹さん

った交唱形式で、楽器はトランペットとトロンボーンを指定。入選作品は、その意図を汲み取ったオーソドックスで形式の整った古典的な作風です。今後隔年で募集します」と木村寛仁准教授。

杉本友樹さん ファンファアレは作曲したことがなかったので、いい機会でした。一分間の中にストリー性を含め、交唱形式の空間

的なイメージをどう出すか悩みました。まだ一回も演奏を聞いたことがないので卒業式が楽しみです。

中谷康亮さん 中学校の時からトランペットを演奏していたので、金管楽器の曲を書いてみたかった。工夫したのはクライマックスのリズムとトランペットとトロンボーンがきれいに響く音域。初めて自分の作品が評価されうれしいです。

松戸市立第四中学校

吹奏楽部顧問

須藤卓真（85年大卒）
（クラリネット）

生徒たちの可能性を無限大に引き出す、類まれな求心力と指導力を発揮してきました。

「僕のポリシーは、とにかく音楽を楽しむ、楽しませること。コ

一体感ある演奏めざす

ンクールという「勝負」が目標ではないので、この結果には驚いています。演奏より、仲間を大事にできない人は、音楽なんかできない」と演奏以前の心の問題を重視してきました。部員は現在89人。明るさと仲の良さが自慢です。ほとんが中学校に入ってから楽器を始めた生徒たちですが、「一年生をどれだけ面倒見られるかが三年生の力だよ」と呼びかけ、先輩

は後輩にマンツーマンで指導。上下のつながりを深め一体感ある演奏をめざしています。コンクールでドビュッシーの『海』を選んだのは、心から音楽を感じ、人を感動させる演奏をしてほしかったから。中



学生には大人になり純粋さ、素直さがあります。理屈抜きでテンションが上がり、それが演奏に生きる場合もある。僕は子どもが好きなもので、そこをどう引き出すかがおもしろいところです」

今年1月、松戸市立第四中学校吹奏楽部のみなさんが須藤教諭と

一緒に、関西に演奏旅行に訪れました。29日に奈良県橿原市で生駒市立生駒中学校吹奏楽部とスペシャルコンサートで共演。

翌30日は尼崎市で第10回尼信ブラスフェスティバルに出演しました。あわただしいリハーサルの間、部長の松田留郁さん（中3 トランペット）に聞きました。「須藤先生は、練習はとてもしっかりと指導してくださいますが、性格は難解。だからみんなで頭をフル回転させます。吹奏楽は仲間が一体感を持って、心を確かめ合えるのが魅力。トランペットは音が明るいかから好きです。生駒中学校のみなさんとはすぐ仲良くなり、共演できてお互いすごくいい刺激になりました」

能の幽玄とロマン派の美学研究

ヴェリテイさんに学位記

英国人初 大学院修了



10年6月、大学院・芸術文化の課目で、筑前琵琶を手にするヴェリテイさん（左）

らに勉強。09年に本学大学院に入りました。日本の伝統音楽を研究するうち、特に能に興味を持ち、かつて本学の大学専攻科で日本の伝統音楽について研究した水谷教授にアドバイスを受けるようになりました。

ヴェリテイさんは、室町時代の能役者で能作者でもある世阿弥が最初に著わした能の理論書「風姿花伝」や、世阿弥が次男に遺した「三道」などを原文と現代文、それに英文で読み研究してきました。また、中澤道子講師が能面を打っていたと聞き、作品を見せてもらったり、自宅に能楽堂があるという学生を訪ねたり。また、同じ院2の松田佳奈さん（ヴァイオリン）には各種提出物についてフォローしてもらったそうです。

英国からの留学生、ヴェリテイ・レイン（Verity Lane）さんが3月25日、大学院（作曲）の修了式で、英国人として初めて本学の学位記を授与されました。ヴェリテイさんの修士論文は「能における幽玄とロマン派のサブライム（崇高美）」。アドバイスした水谷一郎教授は「幽玄とロマン派の美学の共通点について述べ、大変よく書けている」と評価しています。

ヴェリテイさんは07年にロンドンの大学を卒業して来日しました。日本語は大学時代から学んでいましたが、京都に住んで約1年間さ

日本の有数の蔵書を誇っています。しかし、水谷教授によると、能に関するものがやや少なかったため、ヴェリテイさんの研究をサポートするため、NHKの「能楽名演集」などのDVD約30本をそろえるな

ど、図書館の充実にもなりました。ヴェリテイさんは修士論文の中で「私は『ロマンティシズム』という語がロマン派の『サブライム（崇高美）』と日本の美意識『幽玄』に当てはまると言いたい」と述べています。

英国に一時帰国し、修了式の前日に来日予定でしたが、雪のため

京谷政樹さん英国へ 2人目の交換留学生



昨年12月の古楽発表会でチェンバロを弾く。円内は京谷政樹さん

本学の提携校、英国・王立ウェールズ音楽演劇大学への交換留学生に京谷政樹さん（大4・音楽学）が選ばれ、3月26日に渡英しました。09年にドイツのワイマール・フランクツ・リスト大学で学んだ高崎真央さんに続き交換留学生は2人目。

京谷さんは音楽学の基礎を学ぶと同時に古楽、民族音楽も学修したいと本学に進学。昨年12月には音楽学の友達と古楽発表会を開催。京谷さんはチェンバロを担当し、サンマルティーニのソナタⅢなど

飛行機が遅れ、修了式直後に本学に着いたヴェリテイさんは「大学院生活で一番苦労したのは日本語と日本語で論文を書くことでした。しかし、日本の伝統的音楽を勉強するのと笙を習うことが大変楽しく、有意義に過ごすことが出来ました」と旅の疲れを見せず、笑顔で話していました。

を演奏しました。

王立ウェールズ音楽演劇大学は1949年、ウェールズ的首都カードیفに設立され、02年に王立となりました。今回の交換留学は3カ月の短期間ですが、京谷さんは異文化を体験したいと試験を受けました。同大学では古楽科でチェンバロを学ぶのと英国の作曲家W・バードやドイツ人で英国に帰化したG・F・ヘンデルの作品について、京谷さんは英国ではこれらの作品をどう考え、どう演奏しているのか研究したい、と希望。

「英語はあまり強くない」と2月から大阪の英会話教室に通い勉強。少し予定を早めて渡英し、まず英語の勉強を始める予定です。

なお、王立ウェールズ音楽演劇大学からの留学生、エイミー・ドハティー（Amy Doherty）さんは昨年10月から本学でピアノを学び、同12月に帰国しています。

大阪音楽大学出張講座
オペラ物知り講座 in ひこね vol.4
『カルメン』

4月10日(日)14時
ひこね市文化プラザ エコーホール
前売1500円 当日2000円 自由席
[チケット取扱い]
ひこね市文化プラザチケットセンター
☎0749-27-5200

構成・お話 中村敬一

ソリスト 児玉祐子(カルメン)
二塚直紀(ドン・ホセ)
友田久美(ミカエラ)
西田昭広(エスカミーリヨ)
端山梨奈(フラスキータ)
林育子(メルセデス)
佐々木開基(モラレス)
合唱 猪飼実穂 岡田真由子
北村則子

ピアノ 矢崎真理 飯川弓恵
演奏曲 「たばこ女工の合唱」
「ハバナラ」「母の手紙は」
「ジプシーの歌」「闘牛士の歌」
「カルタの三重唱」 ほか

主催 アイネ・クライネ・ローテ・ボーネ
協力 大阪音楽大学 ひこね市文化プラザ

大阪音楽大学学生自主公演オペラ
「メリー・ウイドウ」
5月1日 ザ・カレッジ・オペラハウス

入場整理券の申し込みは4月18日(月)必着。往復はがき1枚に整理券1枚とします。あて先は〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学コンサート・センター1階付。当選者には4月25日までに発送します。

030346260へ。
す。問い合わせは澤田さん(09
す。問い合



澤田美紀さん

ので、未熟な面が多々あると思いますが、チームワークで団結しよう。をモットーにがんばっています。お客さまが、学生の熱い思いを受け取って感動していただける舞台をお届けしたい」と話しています。

申し込みは4月18日必着

入場整理券の申し込みは4月18日(月)必着。往復はがき1枚に整理券1枚とします。あて先は〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学コンサート・センター1階付。当選者には4月25日までに発送します。

『メリー・ウイドウ』は、パリを舞台に美貌の未亡人ハンナとかつての恋人ダニロ伯爵をめぐるラブコメディ。制作担当の澤田美紀さん(大3 声楽)は「『メリー・ウイドウ』はだれもが親しみやすい旋律で、前奏からフィナーレまでずっと楽しげな音楽が流れています。学生だけでやっている

音楽博物館

MUSEUM OF THE OSAKA COLLEGE OF MUSIC

第68回ミュージアム・コンサート

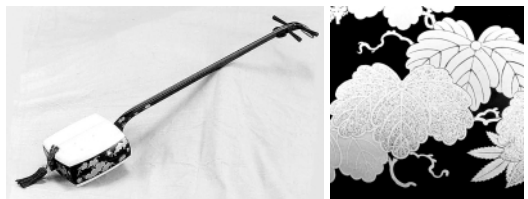
「アーリー・ギターの愉しみ」

2011年2月12日(土) お話と演奏:高本一郎

幅広い音楽ジャンルに対応する楽器として、ギターはとても身近な存在ですが、今回のミュージアム・コンサートでは、珍しい16~19世紀のギターと13~17世紀のスペインで栄えた弦楽器ヴィウエラを、高本一郎さんの演奏で紹介しました。本館所蔵1776年J.R.ベルテ製作の5コース復弦のギターも登場し、オリジナル楽器ならではの響きが会場を満たしました。16世紀の作曲家G.モルラーユから19世紀のF.ソルの作品まで、年代に添って演奏とお話を進め、最後は高本さん作曲の作品と即興演奏で締めくくりました。



伝・石村近江の三味線



館蔵楽器の中に、江戸・元禄期頃の名匠石村近江製作と伝えられる京三味線があります。漆塗りの胴には、中国の特殊なネズミの毛で描かれた細密な金蒔絵細工が施されており、現在では大変貴重なものです。この度、本体の調整と皮の張り替えを行い美しい姿に蘇りましたので、ぜひ一度ご覧ください。

なお、この三味線は2月19日~3月21日、滋賀県の長浜市曳山博物館開館10周年特別展「歌舞伎からみるお江戸の時代」に出品、多くの方に見ていただきました。



音楽博物館お問合わせ ☎06-6868-1509 FAX06-6865-1221
✉ museum1@daion.ac.jp URL: http://daion.ac.jp/museum/

ザ・カレッジ・オペラハウスの催し



2011年度 オペラ公演

第47回オペラ公演 サマー・オペラ

モーツァルト・シリーズ

W.A.モーツァルト

「魔 笛」

(原語—ドイツ語上演 字幕付)

7月8日(金)18時 7月10日(日)14時

全指定席 5月9日(月)13時発券予定

入場料 一般7000円 シルバー6000円

*幸楽会・付属音楽院会員はシルバー料金と同額とします。

小・中・高校生3000円

指揮 大勝秀也 演出 岩田達宗

制作統括 荒田祐子

<キャスト>

ザラストロ 周 江平 タミーノ 谷浩一郎

僧侶 田中 勉 僧侶Ⅱ・鎧をつけた者Ⅰ 松本薫平

僧侶Ⅰ・鎧をつけた者Ⅱ 山川大樹 夜の女王 柴山 愛

パミーナ 高嶋優羽 ダーメⅠ 尾崎比佐子

ダーメⅡ 木澤佐江子 ダーメⅢ 荒田祐子

パパゲーノ 萩原次己 パパゲーナ 田邊織恵

クナーベⅠ 植田加奈子 クナーベⅡ 阪西潤美

クナーベⅢ 西村 薫 モノスタス 藤村巨人

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

第48回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ

B.ブレン

「ねじの回転」

(原語—英語上演・字幕付)

10月14日(金)18時30分 10月16日(日)14時

全指定席 発券日未定

入場料 一般7000円 シルバー6000円

*幸楽会・付属音楽院会員はシルバー料金と同額とします。

小・中・高校生3000円

指揮 十束尚宏 演出 岩田達宗

制作統括 荒田祐子

<キャスト>

プロローグ 柏原保典

女家庭教師 井岡潤子

マイルズ 植田加奈子

フローラ 高山景子

グロース夫人 小西潤子

クイント 中川正崇

ミス・ジェスル 藤原未佳子

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

大阪音楽大学カレッジ・オペラ講座2011

〔オペラ物知り講座〕

テーマ オペラをかげから支える頭脳たちⅡ

構成・お話 中村敬一

各回 18時30分～20時30分 ミレニウムホール

受講料 1000円 4回一括 3500円

第1回 5月24日(火)「美術デザイナーのお仕事」

ゲスト:増田寿子(装置家)

演奏:尾崎比佐子(ソプラノ) 関口康祐(ピアノ)

第2回 7月19日(火)「ドイツ語指導のお仕事」

ゲスト:高折續(ドイツ語原語指導)

演奏:迎肇聡(バリトン) 岡本佐紀子(ピアノ)

第3回 11月15日(火)「衣裳デザイナーのお仕事」

ゲスト:村上まさあき(衣裳家)

演奏:三村浩美(ソプラノ) 谷浩一郎(テノール) 関口康祐(ピアノ)

第4回 1月24日(火)「照明デザイナーのお仕事」

ゲスト:樫木実(照明家)

演奏:松田昌恵(ソプラノ) 岡本佐紀子(ピアノ)

〔一般社会人のためのオペラ講座〕

日程 5月12日、19日、6月2日、9日、23日 毎日本曜日

18時30分～20時30分(6月23日のみ18時～21時)

講師●演出 中村敬一 ●指揮 加藤完二

●声楽・原語指導 安藝榮子 田邊織恵 川口りな(補助)

●コレベティートル 佐藤明子 矢崎真理

受講料20,000円 定員40人

〔高校生のためのオペラ講座〕

日程 8月19日(金)11時～15時 C401教室

8月20日(土)11時～17時 オペラハウス

講師●演出 中村敬一 ●声楽・原語指導 荒田祐子 田中由也

●コレベティートル 矢崎真理 西尾麻貴

受講料10,000円 定員30人

<申し込み・問い合わせ>大阪音楽大学エクステンション・センター

6月1日より受付窓口が「連携支援センター」に変わります。

☎06-6334-2249 FAX06-6334-2542

2011年度

ミレニウムホール特別講座

プロデュース・講師:日下部吉彦

各回 14時～16時 ミレニウムホール

受講料:1回1000円 4回一括3500円

第43回レクチャー・コンサート

6月11日(土)

『ピアノの“3冠王”リスト生誕200年』

演奏:芹澤佳司(ピアノ) 芹澤文美(ピアノ)

第44回レクチャー・コンサート

9月17日(土)

『マラーの時代がやって来た』

演奏:小餅谷哲男(テノール) 田中勉(バリトン)

関口康祐(ピアノ)

第45回レクチャー・コンサート

12月3日(土)

『“テレビ・オペラ”の創始者メノッティ』

演奏:田邊織恵(ソプラノ) 野間直子(アルト)

中川正崇(テノール) 福島勲(バリトン)

松澤政也(バリトン) 関口康祐(ピアノ)

第46回レクチャー・コンサート

2月4日(土)

『楽しい仲間と愉快な金管五重奏』

演奏:呉 信一(トロンボーン) 他

<申し込み・問い合わせ>

大阪音楽大学エクステンション・センター

6月1日より受付窓口が「連携支援センター」に変わります。

☎06-6334-2249 FAX06-6334-2542

ミレニウムピアノコンサート

5月19日(木)17時 ミレニウムホール 入場無料

演奏 小出ひろみ 北野裕司 (予定)

6月7日(火)17時 ミレニウムホール 入場無料

演奏 油井美加子 植田定和 (予定)

前橋汀子 特別講義

ベートーヴェン弦楽四重奏

日本を代表する国際的ヴァイオリニスト前橋汀子教授が演奏する特別講義「ベートーヴェン弦楽四重奏」が2月24日、ミレニアムホールで行われました。近年、室内楽に力を入れている前橋教授から「大学でもお役に立つことがあれば」との話が持ち上がり、今回の特別講義が実現しました。優雅さと円熟味に溢れ、聴衆を魅了する前橋教授。今、一番の夢は学内で室内楽を全曲演奏することだそうです。



立ちについて解説しました。

ナビゲーターはチェリストの上塚憲一准教授。「ベートーヴェンの初期における弦楽四重奏の成り立ち」について解説しました。「楽聖」としてたたえられているベートーヴェン（1770・1827年）。彼を語るとき、生涯を「初期」「中期」「後期」の3つに分けて語る



演奏者（左から）

前橋 汀子教授	ヴァイオリン
松田 佳奈（院2）	ヴァイオリン
山田 聖華（院2）	ヴィオラ
上塚 憲一准教授	チェロ

夢はベートーヴェン全曲演奏



今回の特別講義に備え、演奏者は9月の後期授業から練習に入りました。本番直前の3日間は午後1時から夕方6時ごろまで休みなし。「前橋先生はまったく疲れを感じない方で、音色のこと、音楽性の深いところのこと、奏法のことなどをすぐく勉強させていただ

れます。ベートーヴェンにとつての初期はウィーンに登場した1792年から1802年ごろまでのことをいいます。初期の6曲を書いていたまさにそのころ、彼の耳は少しずつ聞こ

えなくなっていました。

きよう、はじめに演奏する「弦楽四重奏曲第4番 ハ短調作品18・4」（1800年）は6曲の中ではメジャーな曲。おもしろいのは第2楽章。普通は速い楽章の次はゆっくりとした楽章が来るんですが、ベートーヴェンはこちらにスケルツォ（Andante quasi Allegro）という楽章を入れていきます。この展開は「第九」と同じ感覚。3楽章のメヌエットをはさみ、4楽章は速いロンド形式の曲で「ジュビター」のような音形で構成されており、速い中にも、テーマを持って音楽が進んでいきます。

「弦楽四重奏曲第6番 変ロ長調作品18・6」（1800年）は6曲の中の最後の曲ということでベートーヴェンもかなり力をいれて書いたようで、レベル的には最も難しい曲です。

すごく朗らかなところがあるかと思えば、4楽章の序奏がメランコリックであったり、哲学的に悩んでいるような音楽であるかと思えば、突然、天真爛漫な晴れやかな音楽が流れてくるような作品です。この曲を聴けば、ベートーヴェンがすごくアイディアを持った人であったか、ということがよくわかると思います。



きました」と上塚准教授。

ヴァイオリンの松田佳奈さんとヴィオラの山田聖華さんは前橋教授にとってはかわいい愛弟子。二人には若いころのレニングラード時代を振り返り「チャンスがあったらなんでもチャレンジなさい。それが失敗であろが、なんであろが恐れず挑戦してみてください。学生時代に自分のやりたいことを見つけて、外国に行くチャンスがあったら向こうの空気をぜひ吸ってってください」と話されたそうです。

今年はベートーヴェン中期の室内楽「ラズモフスキー」をぜひ弾いてみたい、とも。

校史点描

〈18〉

創立百周年に向けて

関西楽壇史のページを飾った
関西初の「第九」演奏会から約2
ヵ月後の1937年（昭和12年）
1月29日と30日に大阪の中之島・
中央公会堂で、日本が生んだ世界
的プリマドンナ、三浦環の歌劇「お
蝶夫人」（蝶々夫人）の公演があ
りました。これも関西初演です。
最初、大阪音楽学校に打診があり
ましたが、最終的には校長の永井
幸次が支部長を務める東京音楽学
校同声会（同窓会）大阪支部が主
催しました。（文中敬称略）

三浦は東京音楽学校を卒業、1

915年（大正4年）に英国でデ
ビューし、成功しました。その後
は欧米で活躍し35年（昭和10年）
に上演2000回の記録を達成。
翌36年に帰国しました。関西初演
を後援した大阪毎日新聞は37年1
月30日付で「お蝶さんに大観衆酔
う」という見出しで次のように報
じています。

「三浦環女史主演の邦語歌劇お
蝶夫人の関西初公演は本社後援の
もとに29日夜7時半から中之島中
央公会堂にその第一夜を開いたが、
公演実には二千回世界のお蝶さんと

野口決心「マネジヤーに」

いわれた環夫人の舞台に全幕邦語
の画期的な試みがファンを惹きつ
けて会場は開場前すでに満員の盛
況。（中略）幕が開き環女史のお
蝶さん、渡邊光氏のピンカートン
を中心に出演者百余名という豪華

三浦環の関西初演



1937年1月29日に中之島中央公会堂（三浦環（左から4人目）を囲んで

懸命の演出でグラランド・オペラの
真味を満喫させ……」

また、2月1日付の同新聞は「環
さんに聴かれ聴くの会 二千五回
目の舞台を了へ」と報道。この会
に集まったのは永井幸次を始め、
大阪音楽学校教授の杉江秀ら。「お
蝶さんはさしもの公会堂を連日超
満員にした意外なくらいの反響に
すっかりご満悦で、真っ赤なドレ
スに厚化粧の環さんは舞台そのま

満員で赤字 なぜと義憤

の印象をはじめ歌劇邦訳是非、
聴衆の教養問題劇場論などさ
かに意見や注文が出て、（中
略）音楽文化運動の将来にい
ろいろな示唆を含む話題に花
を咲かせた」

この公演について野口幸助
（本学同窓会・幸楽会元会長）
は「昭和」12年1月の三浦
環のお蝶夫人の公演は学校の
主催で、私も事務の手伝いを
させて貰った。ところが満員
の盛況なのに赤字だったこと
に私は義憤を感じ、「ヨシ、
良い音楽マネジヤーになろう」
と決心したのである。そこで
後の3年間はそのつもりで勉強し
た。予科の頃からコールユーブン
ゲンは、未だ金ボタンの学生服を
着た木村四郎先生に習い、音楽史
や楽式論などを朝比奈隆先生に習
った」と、音楽マネジヤーになっ
た動機を記しています。
野口は大阪音楽学校に公演の打

まの若々しいソプラノを座敷一杯
ふりまいて、邦訳歌劇演出の苦心
談や環さんを世界のお蝶さんに仕
上げたこの歌劇の作曲家ブッチー
ニの思い出などを語れば、参会
者から環さんに対して、大阪公演

診があったことを、「主催した」
と勘違いしたのでしょいか。しか
し、この関西公演が契機となり、
大阪音楽学校を卒業後、音楽マネ
ージメントの草分けとして音楽事
務所を設立。60有余年にわたりマ
ネージメントを続けたことで、大
阪音楽大学の卒業生をはじめ数多
くの音楽家が生まれました。また、
大阪音楽学校創設時に教授だった
大塚種子（声楽）は三浦環の弟子
でした。このように内外のオペラ
界に大きな足跡を残した三浦環で
したが、46年（昭和21年）に62歳
でこの世を去りました。

三浦の関西初演があった同じ37
年の7月7日、中国・北京南郊の
蘆溝橋で日中両軍が衝突して戦争
に発展。44年（昭和19年）4月、
大阪音楽学校はやむを得ず一時閉
鎖し、終戦後の翌45年10月に授業
を再開しました。以後、発展を続
け51年（昭和26年）に大阪音楽短
期大学を開学。54年10月15日、現
在地の豊中市庄内幸町（当時は豊
能郡庄内町）に庄内学舎1号館が
完成し、味原から移転。58年（昭
和33年）4月、大阪音楽大学が開
学し、現在に至っています。

3年にわたり連載してきた「校
史点描」は今回で終わります。ご
愛読ありがとうございます。



2月27日 兵庫県立芸術文化センター

第42回 吹奏楽 演奏会



大阪音楽大学第42回吹奏楽演奏会が開かれました。演奏は、今年WASBE国際大会日本代表に選ばれた大阪音楽大学吹奏楽団。第一部は吹奏楽のカリスマの指導者として名高い丸谷明夫特任教授の指揮で、ファンファーレが華やかなD.ショスタコーヴィチの「祝典序曲」、鎌田敏の日本民謡組曲「わらべ唄」、P.A.グレインジャーの「リンカンシャーの花束」などを演奏。第2部は北野徹教授の指揮で、混沌と湧き上がる音のマグマと澄み切ったハーモニーが、人間の内面を映す高昌帥の「マインドスケープ ウインドオーケストラのための」、O.レスピーギの交響詩「ローマの祭り」をまばゆいばかりの色彩感で演奏しました。

コンサート・ミストレス、インスペクター 澤井明日見さん(大4 クラリネット) 音楽をする人間のあり方を重視する、丸谷先生の熱意あるご指導に、とまどいながらも次第についていけるようになりました。「ローマの祭り」は、オーケストラの響きをめざしました。

第16回短大吹奏楽演奏会

大阪音楽大学短期大学部の第16回吹奏楽演奏会が3月6日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。指揮は小野川昭博講師と丸谷明夫特任教授。演奏は短大1、2年生を中心に編成した短期大学部吹奏楽団。

第1部は小野川講師の指揮で酒井格が高校時代に書いた初の吹奏楽曲「たなばた」、19世紀後半にミシガンの水夫たちが歌っていた舟歌を編曲したF.ティケリの「シェナンドー」、N.ヘスがアメリカの東海岸ニューヨーク近郊を訪れたときの印象をもとに、1985年に作曲した「イーストコーストの風景」など。

第2部は丸谷特任教授が短大演奏会で初めてタクトを握りました。2011年度全日本吹奏楽コンクール課題曲に始まり、現代吹奏楽の原点とされるG.ホルストの「吹奏楽のための第1組曲」、A.リードの代表作「アルメニアン・ダンス パートⅠ」などを演奏しました。

会場には将来、吹奏楽を目指す中、高校生たちの姿もありました。

第8回ザ・ストリング・コンサート



3月9日 ザ・カレッジ・オペラハウス

クの様式美豊かに演奏。1、2年生はW・A・モーツァルトの「ディヴェルティメント 二長調」を、春を告げる小鳥のようにはつらつと演奏しました。

後半は全員でP・I・チャイコフスキの「弦楽セレナード ハ長調」。軽やかなワルツ、ロマンティックなエレジー、弦楽器の心を揺さぶる重厚で濃密なハーモニーが会場を満たしました。

大阪音楽大学・同短期大学部弦楽器専攻生による第8回ザ・ストリング・コンサートが開かれました。指揮は上塚憲一准教授。前半は4年生のソリストたちが、3、4年生の弦楽アンサンブルをバックにA・ヴィヴァルディの協奏曲集「調和の霊感」や、J・S・バッハの「3つのヴァイオリンのための協奏曲」をバロック

第22回大阪音楽大学学生オペラ ドン・ジョヴァンニ



第22回大阪音楽大学学生オペラ、W.A.モーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」が上演されました。オーディションで選ばれた学生たちがダブルキャストで出演し、小田野宏之特任教授の指揮で、大阪音楽大学合唱団、同管弦楽団が演奏。演出は中

村敬一講師。

深窓の令嬢ドンナ・アンナ、執着の権化ドンナ・エルヴィーラ、萌えいずる村娘ゼルリーナを次々と誘惑し、「たとえ世の終わりがこようと決して恐れるものか」と悪のダンディズムを貫いたドン・ジョヴァンニ

のドラマを、学生たちはそれぞれの個性やアイデアを生かし、魅力的に演じました。なかでも捨てられた女たちの情念が亡者と化し、ドン・ジョヴァンニを地獄に引きずり込むシーンは鬼気迫る迫力でした。



ドン・ジョヴァンニ（19日）の岩瀬昌弘さん（院1） この役はまったく素の自分と違うので、人間みんなが持っている欲望の塊ととらえ、とにかくシャープにいかうと思いました。「シャンパンの歌」は声にめりはりをつけ、ずば抜けてテンション高く、「セレナーデ」はマンドリンが伴奏なので、情熱的かつ硬軟現れ

るように、「手を取り合って」はデュエットなので、グミのような触感で歌をやりとりしながらゼルリーナを誘いました。

バンダ（舞台上のアンサンブル）の来住姫乃さん（大1 チェロ）、尾松麻衣さん（大3 ホルン）、犬飼理恵子さん（大1 コントラバス） 舞台ではドン・ジョヴァンニ様に雇われ

た楽士を演じているつもりで、姿勢や手の位置にも注意しながら弾きました。いつもと違う感覚でとても楽しかったです。ホルンは後ろ向きのベルなので、お客さまに遅れて聞こえないか、何回も録音して確かめました。舞台では楽譜を見られないので、暗譜に時間がかかりました。



写真は「たじみ市民オペラの会」提供

中澤道子講師 作曲 オペラ「オリベ焼文様」

中澤道子講師が作曲した創作オペラ「オリベ焼文様」古田織部と妻せんの愛と炎の物語」（全二幕八場）が2月20日、岐阜県多治見市文化会館で再演されました。このオペラは97年に多治見市文化会館20周年を記念して書かれた市の委嘱作品。今回は市制70周年事業の一環として市民オペラの会が再演に向けて準備を進めてきました。1300人収容の会場は満席。補助席も間に合わず、通路に座って観る人たちの姿も。

「オリベ焼文様」

は戦国の世、信長、秀吉、家康の3人に仕え、千利休の跡を継ぐ茶匠「古田織部」

とその家族の数奇な運命を描いた物語。妻せんと幼馴染、彩音との愛を伏線に、陶華「織部焼」誕生への苦悩と情熱を描いています。原作・台本は地元の作家、野老比左子さん、音楽は本学出身の作曲家、中澤さんが担当しました。序曲は織部の夢と情熱、悲運を暗示するかにように、壮大な音楽



「オリベ」

が会場を揺るがします。観客はこのとき、これから起こる出来事を予感し、ドラマの中に引き込まれていきます。

悲劇の予感を木管楽器群に、織部の創意と情熱を金管楽器群に設定し、各場面のモチーフを点在させながら大きく盛り上げていきました（中澤道子）。

場所は北野天満宮。秀吉が古田織部に天下一の茶碗を作るように命じる場面。

秀吉 天下に光る道具を作れ

合唱 天下に光る 天下に光る

秀吉 武士の名にかけて 命をかけて 茶碗を作るのじゃ

天下に光る うつわ うつわ

は私にとって宝物



器が完成した最も劇的な場面では、合唱が炎を象徴する力強い歌声で歌います。

夢幻の場。炎上する大阪夏の陣で、古田織部と息子4人が切腹、1人討ち死。

織部 いとしのわが妻よ いとしのわが子らよ よくぞこまでついて来てくれた

せん いとしのわが人よ あなたの悲しみはわたしの悲しみ

家康を辱めたとの謀略から、無念の死を遂げる織部と妻の絆を悲哀に満ちたアリアで表現。

岐阜、名古屋などで再演を重ねてきた「オリベ焼文様」。今回はキャスト、合唱団、少年少女合唱団、交響楽団、スタッフなど総勢200人が総力をあけて舞台を作りました。

「オペラを書き残すことは私の夢。14年前に委嘱の話が飛び込んできたときは、資料集めやイメージ固めに日々費やし、必死で書き上げました」という中澤さん。「オリベは私にとっては生涯記念すべき作品であり、これにかかわった人々との思い出は、かけがえのない宝物です」。

第一幕の見せ場、炎の中から黒織部杵形茶碗が出てくるシーン。合唱 青い織部のひょうげ茶碗泥と水から生まれてた

織部 出来た 出来たぞ ひょうげ茶碗が、おとお出来た

2年でCD 7枚リリース

ミュージシャンにとって、CDをリリースすることは夢のまた「夢」ところが今回登場するシンガー・ソング・ライター、河合良知子さん（ステージネーム・ミチコ。07年大卒・ピアノ）は、そんな夢を

いとも簡単にかなえた人。2年間に7枚のアルバムを出し、すべて黒字というから驚きです。149

歳の小柄な体からほとばしるガッツとは――。

河合良知子さん (07年大卒・ピアノ)

3歳のころからクラシック・ピアノを始めた河合さん。在学中は仲道郁代特任教授、岡原慎也教授、芹澤佳司准教授の指導を受け、クラシックをみっちり叩き込まれました。07年3月には成績優秀者しか出ることができない卒業演奏会にも出演、卒業後はクラシックの道に進むものと、誰もが思っていました。

――その河合さんが、なぜポップスの世界に

「人に感動を与えるような演奏を心がけてきましたが、私にとってクラシックは余りにも偉大。限界を感じていました。そんな時に出会ったのが、ピアノの弾き語り。

私の思いが詰まったメロディーと詩をダイレクトに伝え、それを聴いてくだった人が涙を流して感動してくれる。ああ、私の探していた道はこれだって――

――歌はもちろん作

ピアノテクニックとガッツが武器

詞、作曲、すべて独学だと聞きました。曲づくりで苦労したことは「曲はその時の気分や感情ですらっと書けることが多いので、ほ

とんど苦労知らずです。こんなことでいいのかなって」

曲が完成すると、河合さんはキーボードとアンプを担いで街に飛び出します。

「誰かに聴いてもらいたくて。

そのころの私には路上が唯一、演奏の場、通行人が観客でした」

3年前にCDの制作を手がけているサウンド・プロデューサーに



出会います。自宅のスタジオに録音機材を持ち込み、CDを自費制作することに。

ファーストアルバム「Love to

Love to All



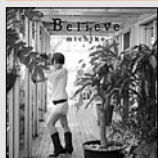
ONCE MORE



Song for you



Belive



LALABAI



河合さんの「ミチコのblog」 blog.livedoor.jp/mitiko32/

「……」が出たのは08年9月。「君ヲ想フ」「桜舞い散る」など6曲を収めました。アコースティックな弾き語りの楽曲が多く、路上ライブで2500枚を売り切りました。

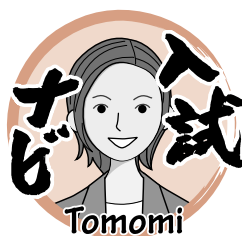
接客が大好きな河合さんは大学時代に家電量販店のファクシミリ売り場でアルバイトをしたことがあります。仕事が楽しくて売り上げ「日本一」に輝いたことも。そのころのノウハウが役に立ったのか、09年4月に発売のセカンドアルバム「LALABAI」も完売です。

「歌で食べていける、とこのとき初めて確信が持てました」

河合さんはその後も週に2曲の割で曲を書いています。これまでに出したアルバムは全部で7枚。4月下旬には8枚目が予定されています。

クラシックで学んだピアノテクニックと、小さな体からあふれる圧倒的な歌唱力を武器に、現在は神戸、大阪、東京を中心にライブ活動を展開する河合さん。

「わたしの原点は路上ライブ。これからも心に響く音楽を作り続け、めっちゃ感動した、と喜んでもらえるような歌手でいたいですね。もう一つの夢は2年後、大阪城ホールステージに立つこと。きつと立ちます」



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。この春高校生にな

られたみなさん、入学おめでとうございます。新しい制服に袖を通すのは気持ち

も引き締まりますね。高校での勉強はこれまでとは違って内容もより難しくなり、授業の進度も速くなります。これからの三年間を有意義に過ごすためにも快調な滑り出しをしてください。三年生の方は最後の学年です。もうひと踏ん張りが、更に自分を大きく成長させます。応援しています。

11年度オープンキャンパス

◇真夏のオープンキャンパス

7月24日(日) 各専攻・コースが趣向を凝らした企画を披露します。キャンパスを訪れ、本学を肌で感じてください。受験に関する新しい情報もいち早くお伝えします。個別相談も対応します。

◇秋のオープンキャンパス

10月10日(月) 大学・短大の通常授業を実施する祝日に開催します。普段の授業風景を見学し、音大生気分を味わってみてください。

吹奏楽ワークシヨップ

昨年大変好評いただいた吹奏楽ワークシヨップを6月12日(日)に開催します。対象は中学・高等学校の吹奏楽部員とその指導者です。講師陣による演奏もお聴きください。申込方法等詳細は4月上旬発行予定のチラシまたはホームページをご覧ください。

開催日時 6月12日(日)

▽中学の部 9時30分～12時30分

▽高校の部 14時～17時

申込締切 5月20日(金)

受講料 無料

講師 本学管弦打楽器専攻教員および卒業生

会場 本学

ウィークエンド・キャンパスツアー

土曜日に施設を中心に見学していただく「ウィークエンド・キャンパスツアー」を実施します。今年度は4月16日を皮切りに、全6回を予定。案内役の学生と授業や学生生活などについていろいろ話ができるチャンスです。ツアーの内容や見学する施設の概要はホームページで紹介しています。お申し込みもホームページから受け付けます。ご家族、友人とお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

クラリネットという楽器はどんな風でできているのか。江戸時代の西洋解剖学の訳術書「解体新書」さながら、クラリネットをばらばらに解体して、部品一つひとつの役割を解き明かしていきました。クラリネットを演奏しながら、ベル、下管、上管、バレルと少しずつ部品を取り去り、最後はマウスピースだけで演奏する驚異の「解体ソング」、A・シユライナー

ミレニアムホール特別講座

クラリネット「解体新書」!

プロデュース 日下部吉彦 客員教授
お話・演奏 上田希 講師



2月26日 ミレニアムホール

の「インマー・クラリナー」を、上田希講師が実演。次第に小さくなっていくクラリネットを巧みに操るマジックのような手際の良さに、会場はあつけにとられました。ピアノは藤井快哉助教。

続いて日下部客員教授と、上田講師のクラリネット談話。小学6年生の時、工業高校のブラスバンドで男子生徒を従えたコンサートミストレスの女子生徒に憧れ、ク

ラリネットを始めた上田講師。今や第68回日本音楽コンクールのクラリネット部門第1位に輝く、最も旬のクラリネット奏者です。"二枚舌"のシングルリードゆえ、無音の状態からすーっとなめらかに音が立ち上がるクラリネットは、メランコリックなトーンからはじけた音楽まで表現の幅が広く、民俗音楽と芸術音楽という2つの顔を持っていました。管楽器

の中では珍しく、モーツァルトやブラームス、サン＝サーンス、プーランク、武満徹といった有名な作曲家が、晩年に心を寄せて名曲を残しています。特にブラームスは一旦作曲をやめた時期に、あるクラリネット奏者のすばらしい演奏を聴いて、再び作曲のペンをとったそうです。もちろん作曲したのはクラリネットの作品でした。

講座ではJ・ブラームスの「ソナタ 第2番 第1楽章」を始め、クラリネットの超絶技巧を披露するP・ジャンジャンの「月の光によるアクロバティック変奏曲」、クラリネットのジャズ風な魅力を織り込んだL・バーンスタインの「ソナタ」などが演奏されました。

《2011年》

6/1(水) 同窓会(幸楽会)特別推薦実技認定審査実施要項発行
2012年度大学・短大 入学試験要項発行
2012年度短大進学実技適性テスト実施要項発行
受験講座(夏期・冬期)募集要項発行
第64～66回到達度テスト実施要項発行

6/30(木)~7/6(水) 受験講座(夏期)申込受付
第63回到達度テスト受験申込受付

7/24(日) 真夏のオープンキャンパス

7/31(日)~8/2(火) 受験講座(夏期)

8/3(水) 第63回音楽基礎科目到達度テスト

8/15(月)~18(木) 同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査申込受付

9/2(金)～6(火) 2012年度短大進学実技適性テスト申込受付

9/4(日) 同窓会《幸楽会》特別推薦実技認定審査

9/18(日) 2012年度短大進学実技適性テスト

10/10(月) 秋のオープンキャンパス

11/1(火)~8(火) 2012年度大学・短大 公募・特別推薦入試願書受付

11/20(日)~23(水) 2012年度大学・短大 公募・特別推薦入学試験

11/30(水)~12/6(火) 受験講座(冬期)申込受付

第64回到達度テスト受験申込受付

12/24(土)~26(月) 受験講座(冬期)

12/27(火) 第64回音楽基礎科目到達度テスト

《2012年》

1/17(火)~24(火) 2012年度大学・短大 一般入試A日程願書受付

2/8(水)~11(土) 2012年度大学・短大 一般入学試験A日程

2/23(木)～29(水) 第65回到達度テスト受験申込受付

3/12(月)~15(木) 2012年度大学・短大 一般入試B日程願書受付

3/21(水)~22(木) 2012年度大学・短大 一般入学試験B日程

3/22(木) 第65回音楽基礎科目到達度テスト

’11年度大学・短大
入試関連スケジュール

7/24
10/10
オープンキャンパス

**入試の質問や相談は
本学ブースでどうぞ**

各地で開催される進学相談会に本学ブースを設け、本学スタッフが来場されたみなさん（高校生や保護者、高校教員など）の質問、相談にお答えします。主催者側の都合により、日時などが変更になることもあります。詳細は本学ホームページでご確認ください。

2011年度進学相談会予定

北陸地区

6月15日(水)	金	沢	金沢駅もてなしドーム
6月16日(木)	福	井	フェニックス・プラザ

近畿地区

4月14日(木)	泉	北	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)
4月14日(木)	和	歌	和歌山ビッグ愛
5月9日(月)	奈	良	なら100年会館
5月11日(水)	京	都	アパシティビル
5月21日(土)	梅	田	梅田アウラホール
5月28日(土)	神	戸	スペースシアター
6月1日(水)	天	王	天王寺ミオ
6月10日(金)	京	都	京都産業会館
6月14日(火)	神	戸	生田神社会館
6月21日(火)	尼	崎	ホテル「ホップイン」アミング
7月15日(金)	京	都	アパシティビル
7月18日(月)	大	阪	大阪府教育センター
			大学コンソーシアム大阪「大学フェア」

中国地区

5月23日(月) 岡山 岡山コンベンションセンター
6月6日(月) 広島 リーガロイヤルホテル広島

四国地区

5月30日(月)	高知	高知新阪急ホテル
5月31日(火)	徳島	ホテルクレメント徳島
6月1日(水)	高松	全日空ホテルクレメント高松
6月3日(金)	松山	松山市総合コミュニティセンター体育館

大阪音楽大学短期大学部 音楽科	一般入試A日程		推薦入試 (公募+特別)	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲コース	2	1	0	—
声楽コース	3	3	21	19
ピアノ・コース	13	12	45	44
管楽器コース	12	11	46	46
弦楽器コース	1	1	2	1
打楽器コース	1	1	8	8
邦楽コース	0	—	1	1
ジャズ・コース	3	3	3	3
ポピュラー・コース	9	5	34	32
ミュージカル・コース	1	1	5	5
電子オルガン・コース	1	1	10	9
合 計	46	39	175	168

大阪音楽大学 音楽学部	一般入試A日程		推薦入試 (公募+特別)	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲学科	5	4	2	2
作曲専攻	5	4	1	1
音楽学専攻	0	—	1	1
声楽学科	21	18	32	30
器楽学科	73	66	105	98
ピアノ専攻 ※含む演奏家特別コース	46	40	48	46
オルガン専攻	0	—	0	—
管楽器専攻	24	23	46	42
弦楽器専攻	1	1	5	4
打楽器専攻	2	2	6	6
邦楽専攻	0	—	0	—
合 計	99	88	139	130

者12人、許可者4人。		ア)演奏家特別コース(ピアノ) 一般入試A日程志願者15人、合格者6人。推薦入試でピアノ専攻に合格した者のうち希望者に対して実施する「コース変更審査」の申込者12人、許可者4人。	
大学院音楽研究科	前期日程	人数	
専攻	研究志願者数	合格者数	
作曲	作曲	0	
	音楽学	1	
声乐	オペラ歌	2	
	歌曲	4	
器楽	ピアノ	7	
	弦打	7	
	管弦	3	
合	計	28	8

大阪音楽大学短期大学部 専攻科 音楽専攻	志願 者数	合格 者数
作曲	0	－
声楽	3	2
ピアノ	5	5
管楽器	6	6
弦楽器	1	1
打楽器	0	－
邦楽	0	－
ジャズ	2	2
ポピュラー	2	2
ミュージカル	1	1
電子オルガン	1	1
合 計	21	20

大阪音楽大学 音楽専攻科	志願 者数	合格 者数
作曲専攻	0	－
声楽専攻	18	12
声楽	18	12
演出	0	－
器楽専攻	31	23
ピアノ	18	10
オルガン	2	2
管楽器	7	7
弦楽器	3	3
打楽器	1	1
邦楽	0	－
合 計	49	35

大阪音楽大学 第3年次編入学	一般入試		推薦入試	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
作曲学科	0	—	0	—
作曲専攻	0	—	0	—
音楽学専攻	0	—	0	—
声楽学科	8	7	2	2
器楽学科	19	15	2	2
ピアノ専攻	12	8	2	2
オルガン専攻	0	—	0	—
管楽器専攻	6	6	0	—
弦楽器専攻	0	—	0	—
打楽器専攻	1	1	0	—
邦楽専攻	0	—	0	—
合 計	27	22	4	4

このほど実施した各入学試験の結果をお知らせします。大学・短大一般入試B日程と大学院入試後期日程の結果は次号に掲載します。

11年度入学試験結果

文化庁芸術祭賞

田中勉教授が優秀賞

関西歌劇団の第92回定期公演、オペラ「リゴレット」(G・ヴェルディ作曲)でタイトルロールを演じたバリトンの田中勉教授が平成22年度文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞しました。この賞は昨年10月2日から11月10日の期間に関東、関西で上演された演劇(48件)、音楽(39件)、舞踊(29件)などの参加作品の中から独創性や企画性に優れた作品を顕彰する賞で、今回は65回目。



授が「リゴレット」を演じるのは今回が二度目。一回目は94年の関西歌劇団創立45周年記念公演のときでした。

リゴレットの内面に迫る

「このオペラのテーマは、一人娘を溺愛する主人公・道化師の怨念や呪い。屈折した内面的なものをいかに描写し、客席に届けるか」というところにあります。今の時代に呪いをどう解釈するか、形としてどのようにとらえるか、見えないうちに、苦心しました」。



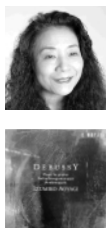
受賞理由は「主役であるリゴレットを演じた田中勉は、運命に翻弄される道化師の悲しみ、苦しみ、また娘ジルダへの父親としての愛情を優れた歌唱、演技で表現し、リゴレットの人物像、そして作品の悲劇性を深く掘り下げることに成功した」と賞賛。「この円熟味を増した演唱は今後ますますの期待を抱かせるものである」と結んでいます。

贈呈式は1月20日、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で行われました。

「バラード」「マズルカ」「夜想曲」などドビュッシーの若き日の小品を取り上げた青柳いづみこ教授のアルバム「ロマンティック・ドビュッシー」(カメラータ・ト

斬新なアイデア賞賛
青柳教授がペンクラブ音楽賞

ウキヨウ)が第23回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(クラシック部門録音・録画作品)を受賞しました。



「今回のドビュッシーのピアノ・アルバムは、彼女の主たる研究テーマであるフランス世紀末の美学

とこの作曲家の關係に着眼した内容。初期ドビュッシーのサロン風小品の中に潜む異国趣味、民族主義様式など、斬新なアイデアの数々に照明が当てられている」というのが受賞の理由です。

青柳いづみこ教授の話 これまでコンサートや書籍で賞をいただいたことはありますが、CDでの受賞は初めてのこと。大変光栄に存じます。CD制作は現場のディレクターやエンジニアさんたちとの共同作業ですので、なおさら嬉しいです。今後も執筆、演奏、教育とともに、いただいたお仕事に対して誠実に取り組んでいきたいと念じております。

アサヒビールから97冊寄贈

広告会社の最大手「電通」に勤める高松彩香さん(08年大卒・ピアノ)の橋渡しでアサヒビール株式会社から音楽の専門書



「トスティ」のある人生の歌(東京堂出版、A5判544頁)97冊が本学に寄贈されました。

専門書「トスティ」

イタリア近代歌曲の作曲家として知られるトスティ(1846-

「トスティ」のある人生の歌(東京堂出版、A5判544頁)97冊が本学に寄贈されました。

第一部はトスティの生涯、第二部は作品紹介、付録として参考文献、作品表などが付いており、学術的にも貴重な本です。

図書館では音楽、ピアノ担当教員の利用に供するほか、学生の勉学にも役立てていく計画です。

「SCHUMANN」

大竹 道哉 講師

「SCHUMANN」は大竹道哉講師にとって2枚目のCDで、シューマン生誕200年を記念して昨年12月にリリースされました。



スタインウェイのピアノを使い、シューマンの代表作「子供の情景」「アラベスク 長調」「パピヨン」「クライスレリアーナ」などを16時間かけて収録したそうです。

「彼の魅力は、メッセージ性が強く、音符が言葉のように語りかけてくるところにあり、それを大事に演奏しました」と大竹講師。

網干毅・関西学院大学教授（音楽学）は「（CDの中から）流れてきたのは、鮮やかで、輪郭のはっきりとしたシューマン。ロマン主義には知性がしっかりと息づいている、という大竹さんの主張が聴こえるようです」と解説しています。

発売元は株式会社ハーモニー。3000円。

大竹講師の話 ロマン派の音楽は全般的にそうなんですが、特にシューマンには弾いていて振り回されるおもしろさがあります。テンポ一つとってもそうです。曲が生きていて、そこに魅力を感じ、それが一番おもしろい。これからは、あらゆる作曲家にチャレンジし、音楽について書くことにも挑戦してみたいですね。



ライオンズ音楽賞

6月25日に大阪・北区のザ・フエニックスホールで開かれた井上麻子講師（サクソフォーン）と藤井快哉助教（ピアノ）のデュオリサイタルが2010年度「神戸灘ライオンズクラブ音楽賞」に選ば

井上麻子×藤井快哉DUO受賞

れました。リサイタルで二人はC・ドビュッシーの『牧神の午後』への前奏曲、武満徹『閉じた眼Ⅱ』などを演奏、サクソフォーンとピアノが織りなす色彩豊かな音色で観客

をしながら、夜間に本学短大二部に通い、その後兵庫教育大学大学院を修了されました。今回の著書は同大学院での研究をさらに深め、まとめたものです。

明治という激動の時代に始まった日本の音楽教育。その成立と発展を評価しつつ、西洋音楽の偏重という現代にも通じる問題点を指摘。背景には、欧米を規範とした近代化、封建的身分制度と無関係な音楽を求めた国策がありました。

明治の音楽教育とその背景

前田 紘二

前田紘二さん（82年 短大卒）が、著書「明治の音楽教育とその背景」を竹林館から出版され、本学図書館に寄贈されました。A5判246ページ、2400円＋税。前田さんは大阪教育大学卒業後、昼間教員



ほん

を魅了しました。

選考委員会は「バロック音楽から現代曲までの幅広いプログラムをフレッシユな感覚で表現し、すばらしいデュオ成果をあげました」と二人を称えています。

井上さんと藤井さんは「このような歴史ある賞を頂けることになり、驚いております。神戸つ子である私たちデュオは、これからも関西を拠点に活動し、関西から様々なものを発信していくことができれば、と思っています」と話しています。

受賞記念コンサートは7月14日19時から神戸市中央区の松方ホールで行われます。

10年度学外新人演奏会出演者

（敬称略）

■第81回東京読売新人演奏会

大学 丹澤加奈子（コントラバス）

■5月3日、東京文化会館

■第52回関西新人演奏会

大学 林佑子（声楽）

■5月14日、

いずみホール

■第27回YAMAHAMA管楽器新人演奏会

大学 澤井明日見（クラリネット）

▽大学 高橋慎太郎（サクソフォーン）

▽大学 宮本葉実（クラリネット）

■6月12日、ザ・フエニックスホール

山内美奈さん



インドネシアの大学で教鞭

学生たちに本物の西洋音楽を学ぶチャンス。インドネシアと日本を行き来しながら教育者として、ピアニストとして活躍している卒業生がいます。ペリタ・ハラパン大学音楽学部教授、山内美奈さん（98年大卒・ピアノ）がその人。一時帰国中の3月にインドネシアの音楽、教育事情について聞いてみました。

山内美奈さんのプロフィール

98年に大阪音楽大学卒業後、米国インディアナ大学に6年間留学し、ソロ・室内楽を勉強。07年にインドネシア・私立ペリタ・ハラパン大学音楽学部長である友人の薦めでインドネシアへ渡り現在、音楽学部教授。



山内さんが勤めるペリタ・ハラパン大学音楽学部には演奏、教育、音楽療法学科や教会・宗教音楽専門学科などがあります。朝7時から午後4時までが教師の絶対拘束時間。山内さんはテクニククラスとマスタークラス、

個人レッスンの指導にあたり、授業はすべて英語で行っているそうです。現在受け持っている門下生は14人。学生たちは3年次からは最低30分以上のリサイタルを行わなくてはならないそうです。

演奏学科の生徒になると、プログラムは50分。コンチェルトリサイタルも必修です。学生のリサイタルが近づくとう束時間は夜の9時や10時になることも。

手に入りにくい楽譜やCD

日本との違いは、楽譜やCDが手に入りにくいことです。注文す

学生に本物のクラシックを



ればすぐに手に入る日本とは違い、楽譜は貴重品だといっています。

山内さんは2、3カ月に一度、日本に帰国します。滞在期間は1週間から10日。滞在中は演奏会を開いたりコンサートに足を運んだ

りしますが、もうひとつ大事な仕事は、大量の楽譜やCDを買い込んで持ち帰ることです。「学生たちの楽譜に対する思い入れはすごいもので、本物の楽譜をまるで宝物のように大切に扱います」。

クラシックに不向きなホール

インドネシアには収容人数が1000人、2000人を超える大きなホールがたくさんありますが、反響板を取り付けたクラシック専用ホールはほとんどないそうです。「反響板がなくてもマイクで十分じゃないか」という考え方です。たとえ立派なホールでもクラシックの演奏には不向きなので、海外からの著名なピアニストはシンガポール止まり。子どもたちは本物を

見る機会や、その雰囲気、ステージマナーを実際肌で感じ、目から学ぶことが少ないのが現実です」

山内さんは昨年6月、中国・内モンゴル自治区政府に招待され、内蒙古芸術学院のホール（1000人収容）で初めての日本人ピアニストとして、初めてクラシックピアノコンサートを行いました。7月には大阪のザ・フェニックスホールでヴァイオリニスト仁科人美さん、チェリスト日野俊介さんと共演し、あまり演奏される機会の少ないベートーヴェンの街の歌と、ドヴォルジャークの第三番を披露しました。

私自身ももっと勉強したい

「舞台の上で孤独を経験する学生たちと同じ気持ちを共有するために私はまだまだ勉強し、演奏を続けたいと思っています」という山内さん。今年も中国をはじめ海外でも様々なスタイルの演奏会を計画しているそうです。

その山内さんが本学学生にメッセージを送ってくれました。「施設にも教員にも恵まれた中で勉強する皆さんは、大学卒業後の自分を早くから意識して、音楽だけに限らず、色々なところに目を向け、色々なものから吸収出来る柔軟な心を作りながら、本物の音楽力を身につけてください」と。

大阪音楽大学後援演奏会

関西を代表する4人のベテラン音楽家による
ピアノと弦の共演
5月7日(土)15時 高槻現代劇場中ホール
清水淳彦 小林孝子 大木愛一 田隅靖子
☎072-699-0035 高槻市コンサート協会

西本由香ピアノリサイタル
5月10日(火)19時 千里ヤマハホール
リスト:メフィストワルツ 他
☎06-6831-8700 ヤマハアクトイン千里

鳥居知行ピアノリサイタル ブラームスのタベ
5月17日(火)19時 3000円
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

オルティスコンサート定期演奏会No.22
5月27日(金)19時 カトリック奈良教会
坂本利文 坂本洋子 上田牧子 中西歩 他
☎0742-22-5105 阪本

柿本功教授退任記念演奏会
6月18日(土)15時 いずみホール
小餅谷哲男 井原秀人 河野桂子 本本憲子
安川忠之 中塚奈美 大崎友美 岩崎慎也 他
☎072-235-2138 木本

西本淳サクソフォンリサイタル
6月18日(土)19時 ザ・フェニックスホール
西本淳 原田恭子 瀬戸口文乃 他
☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

大阪市助成公演「宇宙と地球と自然と人と」
6月19日(日)14時 遊音堂Youホール
河村典子 今築くみこ 久保美緒 山内豊
☎06-6441-4833 Youホール

バリアフリーコンサート
6月19日(日)14時 宝塚バガホール
石原光世 小西潤子 古味重紀 竹内直紀
☎072-622-9928 バリアフリーコンサート企画

名曲コンチェルト〜関西フィルとともに No.8
8月17日(水)19時 いずみホール
井上麻子 金澤俊江 金澤恵子 他
☎0797-62-1480 奥山コンサートプロ

友情のサバーナ・オーケストラコンサート
9月3日(土)14時
兵庫県立芸術文化センター-KOBELCO大ホール
アレッシォ・アレグリーニ ヴィニー・チョ・アレグリーニ
☎06-6844-8787 イタリア生活文化交際協会

《幸楽会》後援演奏会

岩城拓也テノールリサイタル
4月10日(日)17時
兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
岩城拓也 尾崎比佐子 尾崎克典
☎075-952-0346 加瀬

時田直也バリトンコンサート
4月16日(土)14時
大阪クリスチャンセンター-OCCホール
時田直也 柳原契保
☎078-291-8845 時田直也音楽事務所

ファンタスティック デュオコンサート
4月17日(日)14時30分 音楽ホール「奏美」
サクソフォン 西田歩美 トロンボーン 宮尾忍
ピアノ 岡部桂永子
☎090-9093-4573 nishidaconcert

井上綾乃 帰国記念ピアノリサイタル
5月3日(火・祝)14時 ザ・フェニックスホール
リスト:バラード 第2番 ロ短調 他
☎06-6363-7999 ザ・フェニックスホール

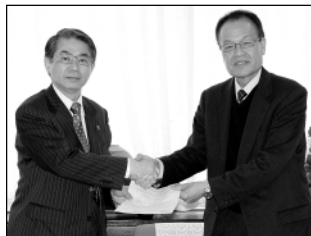
アンドリュ・マイヤー バリトンリサイタル
5月8日(日)14時 澤井家住宅space Amati
アンドリュ・マイヤー 楊美希 門田展弥
☎080-6113-9312 office Amati

秋本久美ピアノリサイタル
5月8日(日)15時 ザ・フェニックスホール
シマノフスキ:変奏曲 変ロ短調 作品3 他
☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

安積京子ピアノリサイタル
5月14日(土)15時 イシハラホール
シェーンマン:幻想曲 作品17
☎06-6135-0503 大阪アーティスト協会

井前典子帰国記念ピアノリサイタル
6月4日(土)14時 ザ・フェニックスホール
シェーンベルク:6つの小さなピアノ曲 他
☎06-6363-7999 フェニックスホール

大学と短大 普通科は初



協定書に調印する中村学長(左)と上田武男校長

協定の目的は相互の教育交流を通して高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学が求める学生像と教育内容への理解を深め高校教育・大学教育の活性化を図るため、としています。

協定の適用条件は①全科目の評定平均値が3・0以上の者②専門実技及び音楽基礎科目について、音楽コース指導教員の推薦を得た者③合格した場合、所定の入学手続きを行い、大学に入学することを条件として出願する者(専願)となっています。

この日の調印式で中村学長は「これを機会にお互いの絆を深めていきたい」と述べたのに対し、上田校長は「責任を持って生徒をしっ

大阪夕陽丘学園高と指定校協定

かりと育て、送り出したい」と話していました。

同校は1939年(昭和14年)の創立で、2005年(平成17年)に一部共学となり、現在は音楽、特進など5コースがあります。このうち、総合進学コースのみ女子となっています。

奈良・帝塚山高と 「高大連携」で調印

大阪音楽大学・同短期大学部の中村孝義学長と帝塚山高(奈良市)の三村正明校長は3月3日、本学学長応接室で教育交流に関する協定書(高大連携)に調印しました。相互の教育交流を通して高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、高校教育・大学教育の活性化を図るのが目的です。

幸楽会
2011年度 総会
4月29日(金・祝)14時
会場:大阪音楽大学シニウムホール

◇学生アンサンブルコンテスト本選
総会の後、予選を勝ち抜いた3組が演奏します。
みなさまの審査で金賞・銀賞・銅賞が決まります。
◇懇親会 15時半 学生サロン「ばうぜ」

大学による高校からの特別聴講学生の受け入れ②高校の要望による大学教員の派遣③教育についての情報交換および交流④その他、双方が同意した事項となっています。同高校は1941年の創立。男女併学(授業は男女別クラス、課外活動や学校行事は合同)の中、高一貫教育で、奈良県内でもトップクラスの進学校。音楽教育も盛ん。音楽の授業で全員がヴァイオリンを習っています。

ミュージカルへの招待 短大ミュージカルコース公演



2月21日 ミレニアムホール



元気いっぱいステージを努めていました。

ミュージカル・コースでは11年度から元劇団四季の羽鳥三実広氏が教授・教育主任に就任、新たなスタートを切ります。



第1部はダンス・コンサート。モダンダンス「TANGUEDIA」やジャズダンス「Ms Steps 2011」の「Attack of killer tomatoes」などを披露。

第2部はルイス・キャロル原作のミュージカル「不思議な国のアリス」よりパート1は第8場、パート2は出演者全員の第7場「フィナーレ」まで、



2月16日 ミレニアムホール

短期大学部 ジャズコース・コンサート

オープニングはチャーリー・パーカーの「コンファメーション」。岡本仁志さん（短1）の自由奔放なトランペットソロに、白倉千春さん（短2）のヴァリエーション豊かなドラムが全体を引き締めます。前半は藤井司朗講師の司会で、授業で学生たちに人気の高かったフュージョンの「パラダイザー」や、「ブラック・ナイル」などを、コンボで個性豊かに演奏しました。

後半はビッグバンド。河村直樹講師の指揮と司会で、ボブ・カールトンの「ジャード」やデューク・エリントンの「ソフィスティケートッド・レディ」などをあたたかなサウンドで演奏しました。今回、初めてヴォーカルが登場。ポピュラーコースの韓国の留学生、サムエル（康基勲）さん（短2）がビッグバンドをバックに「It Don't Mean A Thing If It Ain't Got That Swing」を歌い、会場を盛り上げました。



付属音楽幼稚園の劇あそび「たのしみまショー」が3月5日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。三蔵法師のお供をする「そんごくう」、カラスの羽が黒くなったお話「ふくろうのそめものや」などを元気い

っぱい披露してくれました。舞台の最後は年長組80人によるリコーダー合奏。「ひつじ」「ミッキーマウスマーチ」などを演奏し、満席の会場から大きな拍手をいただきました。子どもたちで作った劇あそび。子

園児キラキラ「たのしみまショー」



楽器を奏でる人形たち



富山県五箇山地方に伝わるからくり人形です。内蔵されたオルゴールの音に合わせて、手前のレバーを押すと、びん編ざさらを持った人形が踊り出します。

こきりこ踊り

西岡信雄コレクションより（音楽博物館所蔵）

どもたちの目はキラキラ輝いていました。